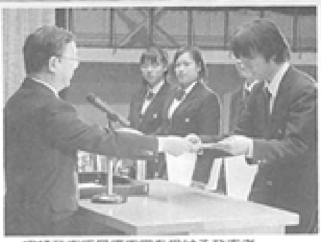
日本農業新聞　2008年（平成20年）1月30日（水）　第14面

めざせ!!全道大会入賞

各地で学校農ク実績発表

道学校農業クラブ連盟の各地区の実績発表大会が開かれ、地区代表が決まった。代表は31日、2月1日、十勝管内音更町で開かれる全道大会に出場する。

北北海道大会


実績発表で最優秀賞を受ける発表者（剣淵町の剣淵高校で）

北北海道学校農業クラブ連盟は、2007年度の実績発表大会を22、23の両日、上川管内剣淵町の剣淵高校で開いた。4区分に12地区の実績発表が行われた。プロジェクト発表の食料区分で幌加内高校、環境区分は旭川農業高校、文化・生活区分は旭川農業高校、クラブ活動発表で名寄農業高校がそれぞれ最優秀賞に輝いた。

4区分の最優秀賞、優秀賞の学校は全道大会に出場する。

入賞校は次の通り。

◇プロジェクト発表◇

食料＝最優秀賞＝幌加内高「幌加内産そばのブランド化を目指して～オリジナルそばの製品化に向けた取り組み」岸野まや▽優秀賞＝名寄農高（川村武士）旭川農高（松永歩）遠別農高（内野綾香、武田京子）▽環境＝最優秀賞＝旭川農高「環境保全型農業への挑戦第2章～環境負荷軽減を目指す栽培方法の研究」宮坂まどか▽優秀賞＝名寄農高（武藤雅代、千葉和貴）中標津農高（大平真明）▽文化・生活＝最優秀賞＝旭川農高「花で笑顔に～Flower Life～花が結ぶ地域とのつながりPart3」井出早紀▽優秀賞＝剣淵高（水崎美沙）遠別農高（坂井友梨恵）剣淵高（松本奈津実、山崎千晴）。

◇クラブ活動発表◇最優秀賞＝名寄農高「Let's！名寄パイオニア！～大地に咲き、やる気みなぎる農クの実践」武藤実子、須藤敏生▽優秀賞＝幌加内高（小嶋竜一、神村まどか）旭川農高（小橋沙紀）。

幌加内農高

全道大会での健闘が期待される幌加内農高生

空知管内幌加内町の幌加内農業高校は、北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会の食料区分で最優秀賞、文化・生活区分とクラブ活動発表で優秀賞を受賞した。

最優秀賞を受けたのは岸野まやさん、平田義博さん（以上3年）、及川博さん、長谷川萌美さん、岩本尚人さん（以上2年）の5人。幌加内産そばのブランド化を目指し「オリジナルそばの製品化に取り組んだ内容をまとめた。

文化・生活区分では水崎美沙さん、武田正一郎さん（以上3年）、片岡[illegible]さん、内藤大輝さん、中村健二さん（以上1年）が、ソバの需要拡大活動を紹介。クラブ活動では、小嶋竜一さん、中村紀人さん、岩本尚人さん（以上2年）、神村まどかさん（1年）が、清掃活動や収穫祭を通して町民と一体となって交流した経験を報告した。

岸野さんは「自信がなかったので、入賞が信じられなかった」、及川さんは「全道大会では、全国大会に行けるよう頑張ります」と話す。

東北海道大会

実績発表大会で表彰される発表者（士幌町で）

東北海道学校農業クラブ連盟は、24、25の両日、十勝管内士幌町の士幌町総合研修センターで2007年度の実績発表大会を開いた。地域5地区の農業高校など10校から4区分で46の発表が行われた。

最優秀賞は、食料区分で士幌高校の「高校生チーズ職人への挑戦」、環境区分は美幌農業高校の「家畜糞尿の有効利用を目指して」、文化・生活区分は標茶高校の「共に歩むグラスランド」、クラブ活動発表は別海高校の「愛郷精神」が輝いた。

審査委員長を務めた北海道野菜協会日本学校農業クラブ北海道連盟代表は「地域の特徴をとらえた素晴らしい発表が多かった。実績発表を通じクラブ員一人ひとりが農や食の伝道者になってほしい」と述べた。

優秀賞は次の通り。

▽食料＝帯広農高（全日）別海高、士幌高、標茶高▽環境＝帯広農高（定時制）、中標津農高、標茶高▽文化・生活＝中標津農高、士幌高、帯広農高（全日）美幌農高▽クラブ発表＝帯広農高（全日）、美幌農高、士幌高。

美幌農高

道大会に出場する（右から）環境、文化・生活、クラブの発表者

網走管内美幌町の美幌農業高校は、東北海道実績発表大会の環境区分で最優秀賞、文化・生活区分とクラブ活動発表で優秀賞を受け、全道大会に向け最後の調整に余念がない。

環境区分では、野菜班の大竹香菜さんと増田静香さんが「家畜糞尿の有効活用」を発表。家畜糞尿を嫌気発酵（はっこう）し、イチゴや水菜、小松菜、ホウレンソウに施用、生育効果と環境に優しい農業の研究を発表した。

文化・生活区分では、切り花の加藤ひとみさんと阿部莉菜さんが「地域の農業に貢献・園芸科の挑戦」で、生徒の減少が続くクラブの建て直しなど、生徒のやる気を発表した。

各種の発表者は全道大会に向け「全国大会へ出場できるよう、精いっぱい頑張ります」と話している。

静内農高

【新ひだか】日高管内新ひだか町で23、24の両日行われた南北海道学校農業クラブ実績発表大会に出場した、日高管内の静内農業高校は、文化・生活区分で最優秀賞に選ばれた。最優秀賞は2年ぶりとあって同校では喜びに沸いている。

同校食品科学科あぐり工房「桜蜜」で行っている「ミルク学校」での食育活動の小学生との交流、取り組みを2年生の前田美香さん、竹内麻友さんが発表した。

このほか同校からは、食料区分で「あぐり工房『桜蜜』コーポレーション2007ブランド商品への道」と、環境区分で「廃棄物を使ったバイオエタノールに関する研究」も優秀賞を受賞し、全道大会へ出場する。

前田さんは「全道大会でも頑張りたい。せっかくなので全国大会へも行ってみたい」と抱負を語っていた。

受賞を喜ぶ静内農高の発表者たち